

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年5月9日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 大
 コード番号 6785 URL http://www.suzukinet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義 TEL 026-251-2600
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 倉田 一 配当支払開始予定日 ー
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績（平成23年7月1日～平成24年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	13,277	6.6	777	△10.5	749	△8.0	280	△20.8
23年6月期第3四半期	12,452	28.0	868	73.8	815	72.7	353	ー

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 415百万円 (19.2%) 23年6月期第3四半期 348百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	45.23	ー
23年6月期第3四半期	57.08	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	16,447	10,950	64.4
23年6月期	15,731	10,726	66.4

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 10,589百万円 23年6月期 10,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	ー	0.00	ー	22.00	22.00
24年6月期	ー	0.00	ー		
24年6月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想（平成23年7月1日～平成24年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,496	12.8	943	△8.6	897	△11.8	352	△17.9	56.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年6月期3Q	6,195,000株	23年6月期	6,195,000株
24年6月期3Q	2,123株	23年6月期	2,123株
24年6月期3Q	6,192,877株	23年6月期3Q	6,192,894株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の停滞から緩やかな回復基調となりましたが、急激な為替の変動、原油価格の高騰などの影響もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループにおいては、スマートフォン、タブレット端末向けなどのコネクタ用部品が増加傾向で推移し、カーエレクトロニクス関連も東日本大震災からの回復需要が継続し好調に推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは引き続き、電子部品事業の生産効率向上に向けた取り組みを継続するとともに、経営の安定化、既存事業の充実、新規事業分野への進出に向けた各施策を推進してまいりました。特に医療機器組立事業においては、事業の拡大に向け既存工場の増築に着手いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は132億7千7百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益7億7千7百万円（前年同期比10.5%減）、経常利益7億4千9百万円（前年同期比8.0%減）、四半期純利益2億8千万円（前年同期比20.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金型

電子機器、自動車向け金型を中心に販売してまいりました。価格優先の市場志向が加速しているなか、海外での安価な金型調達が増加しております。さらに部品生産の海外シフトが進んでいる影響で金型も現地調達の傾向が強くなっております。このような市場環境のなか、自動車向け金型は、比較的堅調に推移しましたが、電子機器市場向け金型は依然として厳しい状況が続いております。

その結果、売上高は10億5千9百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は1億7千5百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

②部品

電子機器関連は、スマートフォン、タブレット端末向けのコネクタ用部品が新機種の造り込み需要などにより増加傾向で推移しました。しかし、その一方で、テレビ、カメラ向けなど、その他のデジタル家電向けについては低調な推移となりました。カーエレクトロニクス関連は東日本大震災からの回復需要が継続し好調に推移しました。

その結果、売上高は110億2千3百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は10億2千9百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

③自動機器

実装機関連では、ディスペンサー、付帯ユニットは回復傾向であり、取り組みを強化している自動車関連装置も順調な推移となりました。しかし、その一方で、半導体関連装置、専用機は、当社顧客の需要見通しの不透明感から設備投資計画の延期などもあり厳しい状況となりました。

その結果、売上高は6億3千4百万円（前年同期比41.1%減）、セグメント利益は5千7百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

④その他

医療機器組立事業は、主力製品が徐々に増加しており順調に推移しました。また、事業の拡大、新製品の立ち上げに向け既存工場の増築に着手いたしました。

その結果、売上高は5億5千9百万円（前年同期比135.2%増）、セグメント利益は1億9百万円（前年同期比131.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7億1千6百万円増加して164億4千7百万円となりました。負債は、長期借入金、1年内返済予定の長期借入金の増加などにより、4億9千2百万円増加して54億9千6百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加などにより、2億2千4百万円増加して109億5千万円となりました。

この結果、自己資本比率は64.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期通期の連結業績予想につきまして、平成23年8月10日に公表いたしました業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、平成23年12月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであり、以降修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.43%から、平成24年7月1日に開始する連結会計年度から平成26年7月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.75%に、平成27年7月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.37%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は12,043千円減少し、その他有価証券評価差額金は23,289千円増加しております。また、当第3 四半期連結累計期間の四半期純利益は、税金費用（法人税等調整額）の増加により35,333千円の減少となっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	866,763	1,390,969
受取手形及び売掛金	3,864,279	3,923,076
商品及び製品	77,340	102,724
仕掛品	525,728	561,420
原材料及び貯蔵品	738,722	805,503
その他	239,063	272,872
流動資産合計	6,311,898	7,056,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,649,730	3,504,148
機械装置及び運搬具（純額）	2,991,943	3,183,037
土地	1,233,666	1,233,666
その他（純額）	311,133	277,842
有形固定資産合計	8,186,473	8,198,695
無形固定資産	112,050	77,970
投資その他の資産		
投資有価証券	946,959	936,388
その他	174,133	178,607
貸倒引当金	△430	△915
投資その他の資産合計	1,120,663	1,114,079
固定資産合計	9,419,187	9,390,745
資産合計	15,731,085	16,447,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,584,105	1,937,987
短期借入金	1,170,000	732,231
1年内返済予定の長期借入金	99,611	434,905
未払法人税等	297,131	130,439
賞与引当金	84,930	224,577
役員賞与引当金	38,100	28,950
その他	663,867	433,968
流動負債合計	3,937,746	3,923,059
固定負債		
長期借入金	92,514	543,104
退職給付引当金	632,876	662,382
役員退職慰労引当金	341,020	367,790
固定負債合計	1,066,410	1,573,276
負債合計	5,004,157	5,496,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,435,300	1,435,300
資本剰余金	1,439,733	1,439,733
利益剰余金	7,320,049	7,463,918
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	10,193,991	10,337,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289,205	297,472
為替換算調整勘定	△45,332	△45,728
その他の包括利益累計額合計	243,873	251,744
少数株主持分	289,063	361,371
純資産合計	10,726,928	10,950,976
負債純資産合計	15,731,085	16,447,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	12,452,670	13,277,853
売上原価	10,554,156	11,518,079
売上総利益	1,898,513	1,759,774
販売費及び一般管理費	1,030,037	982,527
営業利益	868,476	777,246
営業外収益		
受取利息	397	326
受取配当金	6,709	6,557
受取賃貸料	4,708	4,639
スクラップ売却益	3,347	3,915
その他	5,062	6,020
営業外収益合計	20,224	21,460
営業外費用		
支払利息	18,990	12,887
為替差損	54,317	35,888
その他	1	2
営業外費用合計	73,310	48,777
経常利益	815,390	749,928
特別利益		
固定資産売却益	2,372	5,642
その他	—	137
特別利益合計	2,372	5,779
特別損失		
固定資産売却損	3,131	610
固定資産除却損	1,497	1,915
投資有価証券評価損	—	1,693
会員権評価損	6,900	800
貸倒引当金繰入額	420	495
その他	—	0
特別損失合計	11,948	5,514
税金等調整前四半期純利益	805,814	750,194
法人税、住民税及び事業税	455,180	376,564
法人税等調整額	△33,217	△33,883
法人税等合計	421,963	342,680
少数株主損益調整前四半期純利益	383,851	407,513
少数株主利益	30,348	127,401
四半期純利益	353,503	280,112

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	383,851	407,513
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△15,529	8,267
為替換算調整勘定	△20,009	△609
その他の包括利益合計	△35,539	7,657
四半期包括利益	348,312	415,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324,967	287,983
少数株主に係る四半期包括利益	23,344	127,187

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成23年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	自動機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	987,135	10,150,757	1,076,930	12,214,823	237,847	12,452,670	—	12,452,670
セグメント間の内部 売上高又は振替高	333,357	△281,498	153,750	205,610	49,857	255,467	△255,467	—
計	1,320,493	9,869,259	1,230,681	12,420,433	287,704	12,708,138	△255,467	12,452,670
セグメント利益	117,146	1,266,696	151,902	1,535,744	47,356	1,583,100	△714,624	868,476

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、組立事業、賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△10,786
全社費用※	△710,278
棚卸資産の調整額	17,865
その他	△11,425
合計	△714,624

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至平成24年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	自動機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,059,910	11,023,839	634,645	12,718,395	559,457	13,277,853	—	13,277,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	324,871	△271,073	168,155	221,953	46,977	268,930	△268,930	—
計	1,384,781	10,752,766	802,801	12,940,349	606,434	13,546,784	△268,930	13,277,853
セグメント利益	175,857	1,029,502	57,385	1,262,745	109,615	1,372,360	△595,114	777,246

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、組立事業、賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△595,114千円には、セグメント間取引消去△7,121千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△602,530千円、棚卸資産の調整額2,185千円及びその他の影響額12,352千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。